対馬釜山事務所だより。

冬にもってこいのチムジルバン(韓国式健康ランド)

この季節は、コートの中まで入り込む冷たい風が歩くスピードをアップさせ、頭の中をずっと暖かい物ばかり思い浮かばせる季節です。

こんな時、対馬の皆さんは何が思い浮かびますか?温泉、コタツ、おでん、鍋...。韓国人でしたら、オンドル、チムジルバン、キムチチゲ、たい焼き、焼き芋などです。

オンドルが韓国式の床暖房というのはご存知でしょう。キムチチゲは、今や日本でも珍しくない料理ですね。

しかし、チムジルバンは何?と思う方が多いのではないでしょうか。今回はより冬にもってこいのチムジルバンをご紹介します。

男女が一緒に入るサウナが特徴!

チムジルバンを一言で言えば韓国式の健康ランドです。チムジルバンの中を見ますと、「サウナエリア」と「大浴場」に分けられます。

サウナエリアでは、貸し出しのTシャツと短パンを着て入ります。全体の間取りは、真ん中に広いオンドルの床があって壁の方に高温部屋、中温部屋、塩部屋、セラミックス部屋、黄土部屋、宝石の原石の熱窯、アイス部屋など、それぞれの特色がある部屋があります。

これらの部屋を好きなように回りながら、汗を流すというのがチムジルバンの楽しみ方です。特に真ん中の広い床では、ごろごろ寝転んだり、おしゃべりをしたり、漫画を読んだり、テレビを見たりなど色んなことが出来ます。

チムジルバンには、サウナのほかにもマッサージコーナー、売店、パソコンゲームコーナーに加え、DVDが見れる部屋もあります。そして、食堂も必ず備えてありますのでお腹がすいても問題なく、一日中暖かく過ごすことが出来ます。サウナでゆっくりした後、大浴場へ行ってお風呂に入りさっぱりして家に帰ります。

チムジルバンの良さは、サウナエリアを男女共用で使うので家族同士、友達同士、または恋人同士で行って話をしたり、ご飯をたべたり、映画を





見たりなど、一緒に楽しめるということです。(大浴場は勿論男女別です。) 皆様も今度釜山にいらっないがいかいないがですか?チムジルバがですか?チムジルバがの話をしたら、体がじます。



卒業生第2号が誕生

さて、最後に心が温まる話題をもうひとつ。対 馬から釜山へ留学している学生の中で、卒業生第 2号が誕生しました。美津島町今里出身の上野未 来さんが2月23日、釜慶大学の国際通商学部を 卒業します。

留学生の中でも抜群の韓国語能力の持ち主である上野さんが、これから社会人として韓日交流で活躍されることを期待します。卒業おめでとうございます。

対馬釜山事務所 金 京一、辛 恩京